

# 予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道工務課	施設整備係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	01	-	建設改良費 施設整備費(工事請負費)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	974,095千円	737,451千円	944,371千円	0千円
総人件費	54,712千円	54,166千円	46,044千円	
総事業コスト	1,028,807千円	791,617千円	990,415千円	

事務事業名	01 上水道施設新設事業				指標名	水道の普及				指標種別	活動結果指標				指標の概要	整備工事延長					
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標	-							
総合戦略	-	-	-	-	-	18,393m	27,000m	-													
個別計画	-				H27年度				H28年度				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初				
	改善目標	計画的な完成整備を行う。				改善目標	計画的な完成整備を行う。				事業費(A)	651,885千円		422,226千円	825,430千円	0千円					
根拠法令等	-				事業計画	・配水管布設工事 75mm～200mm 総延長17,200m, 総事業費650,818千円にて実施 ・実施設計委託 75mm～200mm 総延長28,190m, 総事業費34,875千円にて実施				事業計画	・配水管布設工事 75mm～300mm 総延長22,700m, 総事業費788,559千円にて実施 ・実施設計委託 75mm～100mm 総延長7,600m, 総事業費36,871千円にて実施				国庫支出金	157,128千円	125,086千円	248,508千円	0千円		
	事業分類	G 建設等事業				活動実績	・配水管布設工事 75mm～400mm 総延長11,500m, 総事業費339,304千円にて実施 ・実施設計委託 75mm～300mm 総延長24,600m, 総事業費82,922千円にて実施				上半期活動実績	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託				成果	・新設配水管を布設することにより, 安全で安定した上水道の普及を図り, 地域住民の生活環境並びに公衆衛生の向上に資する。				上半期成果	-				地方債	188,000千円	151,988千円	253,123千円	0千円		
	事業の目的	・TX沿線開発区域内及び要望等を基に新設配水管布設を実施して, 安全安心な水道水を供給するため。				課題	TX沿線開発地区及び中心地区に比べ, 周辺地区の整備が遅れているため, 計画的に幹線整備が必要である。				課題	-				その他特財	215,235千円	139,158千円	301,479千円	0千円	
事業の概要		・TX沿線開発事業の進捗に合わせた施設整備をおこなう。 ・水道未整備地区からの要望を基に施設整備					事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	一般財源	91,522千円	5,994千円	22,320千円
	ISO 14001 関連性	地球温暖化の防止				評価	有効性	中: 適切な成果が得られている				評価	有効性	-				人件費(B)	31,086千円	31,048千円	22,926千円
建設工事等の現場周辺の住民の生活環境の保全を図るとともに, 建設工事等の円滑化に寄与する。				効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-				正職員	従事割合	4.00人	4.00人		3.00人		
				総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				時間外勤務	263.00時間	500.00時間	240.00時間				
																臨時職員等	無	無	無		
																事業コスト(A+B)	682,971千円	453,274千円	848,356千円		
																H29年度当初積算根拠					
																H29年度当初積算根拠					
																理由					

# 予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	974,095千円	737,451千円	944,371千円	0千円
総人件費	54,712千円	54,166千円	46,044千円	
総事業コスト	1,028,807千円	791,617千円	990,415千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道工務課	施設整備係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	01	-	建設改良費 施設整備費(工事請負費)

事務事業名	02 上水道管路改良事業				指標名	工事延長				指標種別	活動結果指標				指標の概要	改良工事延長				
	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度		
戦略プラン	-	-	-	-	3287m	1340m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	1824m	1400m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
個別計画	-				H27年度				H28年度				その他の指標							
根拠法令等	-				改善目標	予定されている配水管布設替工事及び設計業務を9月までに発注し, 年度内竣工(完了)を目指す。				改善目標	予定している工事及び業務委託を第一四半期内に発注し年度内完了を目指す。				-					
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	・配水管布設替工事・・・429,710千円 ・実施設計委託・・・22,000千円				事業計画	・配水管布設替工事費: 99,663千円 ・設計業務委託費: 19,278千円				事業実施コスト					
執行体制	職員のみ				活動実績	・配水管布設替等工事: 延長 約1.4km 総工事費: 282,593千円を7工区(内4工区繰越)にて実施 ・実施設計等委託: 延長 約1.1km 総委託費 30,888千円を5工区にて実施 ・消火栓設置工事: 4基 総消火栓工事費 1,744千円を3工区にて実施				上半期活動実績	-				H26年度決算					
事業の目的	漏水の防止と出水不足を解消し, 水道の安定供給及び水道施設の機能を確保するため。				成果	管路改良実施整備計画等に基づいた老朽管の布設替工事や高水圧地区を解消するための減圧弁設置工事を実施することができた。				上半期成果	-				H27年度決算					
事業の概要	管路改良実施整備計画及び現状(漏水頻度及び出水不良の苦情等)をもとに, 実施設計を作成し, 配水管布設替等の工事を行う。				課題	今後発生する改良工事の経費は年々増加するものであり将来を見通した財源確保が必要である。				課題	-				H28年度当初					
ISO 14001 関連性	地球温暖化の防止				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠							
ISO 14001 環境性	建設工事等の現場周辺の住民の生活環境の保全を図るとともに, 建設工事等の円滑化に寄与する。				評価	有効性	中: 適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度当初積算根拠							
					評価	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		理由							
					評価	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		理由							
													H29年度当初積算根拠				理由			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	59,000千円	46,837千円	59,000千円	0千円
総人件費	23,626千円	23,118千円	23,118千円	
総事業コスト	82,626千円	69,955千円	82,118千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道工務課	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(修繕費)

事務事業名	01 上水道管路修繕事業				指標名	有収率				指標種別	活動結果指標				指標の概要	
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	91.68%	91.68%	91.78%	91.88%	91.98%	92.00%	92.00%		有収率 料金徴収の対象となった水量を給水実績水量で除したもの。		
総合戦略	-	-	-	-	実績	91.7%	92.12%	-								
個別計画	-	-	-	-	H27年度				H28年度							
根拠法令等	-	-	-	-	改善目標	突発的に発生する漏水等緊急工事に対して、緊急工事協力業者と連携を密にし、迅速な復旧により漏水量の低減に努め、年度末有収率91.68%以上を目指す。				改善目標	突発的に発生する漏水等の緊急工事に対しては、緊急工事協力業者と連携を密にし、迅速な復旧により漏水量の低減に努めます。また、有収率91.78%以上を目指します。					
事業分類	F	施設等維持管理事業			事業計画	・配水管等修繕工事・・・50,000千円 ・消火栓(室含む)修繕工事・・・9,000千円 修繕工事合計...59,000千円				事業計画	・配水管等修繕工事:50,000千円 ・消火栓等修繕工事:9,000千円 工事費計:59,000千円					
執行体制	職員のみ				活動実績	・配水管等修繕工事:88件 38,988千円 ・消火栓(室含む)修繕工事:10件 7,849千円 修繕工事計:98件 46,837千円(平成28年3月末現在)				上半期活動実績	-					
事業の目的	漏水による事故の防止と構造物の騒音、振動を改善し、水道の安定供給及び水道施設の機能を確保するため。				成果	断水等の被害を回復し、安定した水道の供給ができた。また、事故等の二次被害及び騒音や振動等の被害をなくし生活環境が確保された。				上半期成果	-					
事業の概要	配水管等の漏水及び弁室・弁筐等の破損等、緊急に対応しなければならない事態が発生した際に、あらかじめ請負単価契約を締結している緊急工事業者を選定し、発注する				課題	経年劣化等の修繕費用は年々増加することから予算の確保が重要である。また、事業の特殊性から知識と経験を有する職員の確保及び育成が必要である。				課題	-					
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
評価	有効性				中:適切な成果が得られている				評価	有効性						
	効率性				中:適切な費用対効果が得られている					効率性						
	総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価						
事業実施コスト	H26年度決算				H27年度決算				H28年度当初				H29年度当初			
事業費(A)	59,000千円				46,837千円				59,000千円				0千円			
国庫支出金	0千円				0千円				0千円				0千円			
県支出金	0千円				0千円				0千円				0千円			
地方債	0千円				0千円				0千円				0千円			
その他特財	0千円				0千円				0千円				0千円			
一般財源	59,000千円				46,837千円				59,000千円				0千円			
人件費(B)	23,626千円				23,118千円				23,118千円							
正職員	従事割合	3.00人			3.00人			3.00人								
時間外勤務	312.00時間			312.00時間			312.00時間									
臨時職員等	無			無			無									
事業コスト(A+B)	82,626千円				69,955千円				82,118千円							
H29年度当初積算根拠	-															
H29年度の方向性	理由															